

事務事業チェックシート

事務事業No 684 事業名 和歌山音楽大行進開催委託事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		社会教育費	
	目		文化振興費	
	大事業		文化振興事業	
事項		和歌山音楽大行進開催委託事業		

[長期総合計画]

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	4	文化・スポーツの振興
施策	2	芸術・文化の振興
基本方針	1	芸術・文化活動への支援

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	文化振興課	高松 通博(435-1194)	
関連課	青少年課		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	吹奏楽の演奏を通して、音楽文化の向上を図り、文化的で明るいまちづくりに寄与する。	5月5日のこどもの日に、参加団体の吹奏楽により実施する和歌山音楽大行進の開催を委託する。 ・和歌山音楽大行進開催委託先 和歌山音楽大行進実行委員会 委員長 脇田 裕己 ・参加団体 保育所・小学校・中学校・高等学校吹奏楽部他				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		第41回 参加団体24団体 参加人数1,512名	第42回 参加団体29団体 参加人数1,200名	第43回 参加団体26団体 参加人数2,000名	第44回 参加団体30団体 参加人数2,000名	

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
	事業費	1,800	1,800	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852
	伸び率 (%)	-	-	2.9%		0.0%		0.0%		0.0%	
	人件費	常勤職員	3,537	3,661	3,641	3,575	4,003	4,303	4,303		4,303
		非常勤職員									
		小計	3,537	3,661	3,641	3,575	4,003	4,303	4,303		4,303
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
	その他										
	一般財源(税等)	1,800	1,800	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852
	所要人数	常勤職員	0.48	0.49	0.48	0.48	0.54	0.57	0.57		0.57
非常勤職員											
主な予算内訳	和歌山音楽大行進開催委託料1,852千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	委員会の開催				年度目標値	2	2	2	2	
					実績値	2	2	2		
	単位	回	全体目標値	10	全体目標達成度	60.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%
					年度目標値					
					実績値					
成果指標	参加者数				年度目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	
					実績値	1,512	1,200	2,000		
	単位		全体目標値	10,000	全体目標達成度	47.1%	年度別達成度	75.6%	60.0%	100.0%
					年度目標値					
					実績値					
	単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	「子どもの日」を祝う事業として、市民の間ではすっかり定着しているシンボリック的存在の事業である。
「見直し」 「改善」案	更なる音楽大行進プログラムの充実を行い、パレード参加者の子どもたちの育成と観客の増加を図る。